

今後の主な講習会日程(平成21年度分)

発行日 平成21年4月1日

・ 安全教育講習

(1)ガス溶接技能講習

平成21年 4/6日(月)7日(火), 4/22日(水)23日(木), 5/7日(木)8日(金), 5/26日(火)27日(水), 6/9日(火)10日(水), 6/22日(月)23日(火),7/7日(火)8日(水), 7/23日(木)24日(金), 8/3日(月)4日(火), 8/18日(火)19日(水), 9/1日(火)2日(水), 9/16日(水)17日(木), 10/1日(木)2日(金), 10/27日(火)28日(水), 11/10日(火)11日(水),11/24日(火)25日(水), 12/8日(火)9日(水), 12/21日(月)22日(火), 平成22年 1/13日(水)14日(木), 1/27日(水)28日(木), 2/9日(火)10日(水), 2/22日(月)23日(火), 3/9日(火)10日(水), 3/24日(水)25日(木)
--

(2) アーク溶接特別教育講習

平成21年 4/1日(水)2日(木)3日(金), 5/20日(水)21日(木)22日(金),6/24日(水)25日(木)26日(金), 7/16日(木)17日(金), 8/26日(水)27日(木)28日(金),9/28日(月)29日(火)30日(水), 10/21日(水)22日(木)23日(金) 11/25日(水)26日(木)27日(金),12/16日(水)17日(木)18日(金) 平成22年 1/21日(木)22日(金), 2/24日(水)25日(木)26日(金),3/17日(水)18日(木)19日(金)

・ 各種技術講習

(1) 非破壊試験 実技試験対策講習

注) MT(MY),PT(PD)の日程変更の可能性がありますので問い合わせ下さい。

超音波探傷試験	レベル1(UT)	平成21年5月28(木)～29日(金)
	レベル2(UT)	平成21年6月3(水)～5日(金)
	レベル3(UT)	平成21年4月15(水)
浸透探傷試験	レベル1(PT,PD),レベル2(PT,PD)	平成21年5月21(木)PT,22日(金)PD
	レベル3(PT)	平成21年4月22日(水)
磁粉探傷試験	レベル1(MT,MY),レベル2(MT,MY)	平成21年5月26(火)MT,27日(水)MY
	レベル3(MT)	未定
放射線透過試験	レベル1(RT)	平成21年5月12(火)～13日(水)
	レベル2(RT)	平成21年5月14(木)～15日(金)
	レベル3(RT)	未定

(2) 溶接管理技術者(WES1級、2級)取得

認定研修会 : WES1級 ~ 平成21年4/14(火)～4/17(金)

WES2級 ~ 平成21年4/14(火)～4/16(木)

直前対策演習: WES1級 ~ 平成21年5/23(土)～5/24(日)

平成21年5/16(土)～5/17(日)

(3) 溶融亜鉛めっきの諸問題に関する実務教育講習会 平成21年 4/21(火)～22(水)

(4) 抵抗溶接教育訓練講習会 平成21年 6/6(土)～6/7(日)

・ 溶接技能訓練講習

ステンレス鋼溶接(被覆、テグ、ミグ)	平成21年 4/8(水)～9(木)、5/13(水)～14(木)、6/3(水)～4(木)
アルミ合金溶接(テグ、ミグ)	平成21年 4/15(水)～16(木)、6/17(水)～18(木)
半自動アーク溶接(炭酸ガス)	平成21年 4/7(火)～9(木)、5/12(火)～14(木)、6/2(火)～4(木)

・ 検定日

鋼溶接検定日	平成21年 4/10(金)、5/15(金)、6/5(金)、7/3(金)、7/10(金)
アルミ溶接検定日	平成21年 4/17(金)、6/9(金)

発行所 財団法人 日本溶接技術センター
〒210-0001
川崎市川崎区本町2-11-19
Tel 044-222-4102
Fax 044-233-7976
URL <http://www.jwsc.or.jp/>

日溶セがいで

第15号

第15号の主な内容

- 1、第8回国際オートアフターマーケットEXPO2009への協賛と出展
専務理事 奥村 誠
- 2、日本溶接構造専門学校の現状
学校長 岡本 晴仁
- 3、今後の主な講習会日程(平成21年度分)



オートアフターマーケット セミナー会場風景1



専門学校 卒業生答辞



専門学校 集合写真

専務理事 奥村 誠

学校長 岡本 晴仁

3月12日(木)～14日(土)、東京ビックサイトにおいて標記の展示会が開催された。

この展示会は日本で唯一の自動車整備業界における国際的な専門トレードショーで、車体整備における補修溶接技術アドバイザーの立場から、今回で3度目の協賛団体として協力参加し、併せて当センター-事業活動内容のPRを実施した。

3日間の入場総数は約3万5千名(昨年同水準)と盛り上がり、特に当センター-も推進メンバーとして企画に関与した「高張力鋼、アルミ合金を正しく補修するために・・・と銘打った自動車補修溶接フォーラム」は、初日(平日)の朝一番にも拘わらず約200名近くの受講者を集め、課題に対する関心の高さが注目された。

我が国はもちろんの事、全世界的にも主力産業である自動車は、環境問題(軽量化)や衝突安全性の観点から適用素材に飛躍的变化が生じており、車体整備における補修溶接も特に熱加工の影響という視点から正しい情報の収集と技術取得が必要不可欠となっている。

不整な修復履歴車は必ずしも安全性能が保証されていない可能性があり、加えて、不整補修部品がリサイクルパーツとして再販される可能性もあり、このようなものが広く流通する事態は、社会的にも大きな影響を及ぼすこととなる。

このような問題意識から出発して企画された「自動車補修溶接フォーラム」であるが、メーカーや素材および溶接分野の専門家を集めて、車体整備業界に警鐘を鳴らすと共にパネルディスカッションを重ねてきた。

今後、本フォーラムの企画実行委員会を通じて補修溶接に携わる人達に提供する教育スキームの確立や技術者認証制度の導入が急がれている。

これらも含め自動車車体整備業界の健全な発展に寄与することを目的とする活動に、当センター-もその一翼を担っていききたいと考えている。



オートアフターマーケット セミナー会場風景2



弊センターブース

3月11日(水)平成20年度の卒業式が行われた。今年は卒業生が11名と過去最小となった。卒業生の中には鉄骨加工業の家業を継ぐものもあり、通常の就職をした人は7名であった。

昨年秋からの不景気による非正規社員問題の影響があったことにもよるが、就職先の希望は大会社が目立った。卒業生はそれぞれ各種資格も取得しておりほぼ希望通りに就職できた。

来年度はより厳しい就職戦線が予想されるが、当校出身者は溶接、検査の高度な資格を取得して卒業するので就職についてはそれほど心配していない。

それよりも学生数がここ数年ドンドン減少しており、何とか学生数を増やす方法はないものかと日々思案している状態である。

学校案内も積極的に配布し、各種学校紹介の催しごとにも限られた予算内で参加した効果か、来年度の入学生は昨年より3名増加し、卒業生が少なかったこともあり学生数は3名ほど増加した。

これまで景気が悪いと鉄骨加工業の子弟の入学が減少し、入学生の数は景気を反映している形であったが、今年度はあまりにも景気が悪く、有効な資格を取って一流企業の正規社員になりたい人が増加している影響かもしれない。



専門学校 謝恩会風景

溶接や検査の分野では労働者不足が深刻な状況にあるが、入学生の中に2名の外国人留学生がいる。日本人はほとんど増加していないとも考えられる。

溶接や検査の技能も教えているが、基本的にはそれらの管理ができる高級現場管理者の養成を目的としている学校へ入学したい外国人の数は増加傾向にある。当校を卒業すると就業ビザが下り、一生日本で働くことが可能であることが魅力のようである。

賢沢は言えず今後海外留学生を積極的に増加させていきたいと思っており、海外留学生への特別奨学金についても検討している。また留学生が10人以上となれば留学生を対象とした学科の設置も考えている。

読者の皆様で身近に学校選択を悩んでいる人がおられれば、是非日本溶接構造専門学校を紹介してもらいたい。就職等の心配のいらない学校です。



専門学校 卒業証書授与